



神社の豆知識



清め塩について

お清めに塩を用いることは日本の宗教的習俗であり、海水を意味する「潮」とも通じて様々な風習があります。記紀神話では、黄泉国よみのくにから戻ったイザナギノミコトが体についたケガレを祓うため、海水で禊祓みそぎはらいを行ったことが記されています。このことから、海水を沸かした「塩湯」えんとつが病気治療や無病息災の為に用いられるといった風習に繋がりました。神社のお祭りにおけるお祓いでは塩水が用いられます。葬儀の際に塩が用いられるのもこうした信仰に基づき、非日常と日常とを分けるお清めの行為を象徴的に行ったものと言えます。

